

ぱれっと

2010
7月
No.131

P2~3 **すぽっとらいと**

『NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘』

みんなの「大切な場所」を守り、
子どもの健全育成に取り組む



「みやぎ・せんだい子どもの丘」が復活させたイベント「おてんとさんまつり」。6年目の今年は5月5日に開催され、あそび歌や童謡、紙芝居、アートパフォーマンス、子どもフリーマーケットなどの企画を実施し、2,000人近くの子どもや大人が訪れました。

<目次>

-
- P4... **サポちゃんで行く骨工口施設見学！ エル・ソーラ仙台の巻**
... **サポ本を読もう！『地域メディアが地域を変える』**
 - P5... 平成22年度サポセン人材育成事業スケジュール お知らせ
 - P6... サポセンカレンダー

すぽっとらいと

◆仙台市内で活動している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

みんなの「大切な場所」を守り、 子どもの健全育成に取り組む NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘



▲理事長の平山乾悦さん
(右)

子どもの健全育成を目標に様々な活動を展開する「NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘」。仙台市内6つの児童館運営を行っていますが、その団体発足のきっかけは「大切な場所」を守り、活かすためでした。

●すべてはここから始まった ～宮城県中央児童館～

みなさんは、仙台市太白区向山にある「宮城県中央児童館」をご存知でしょうか？昭和40年に開館し、全国に先駆けてジュニアリーダーの育成事業などを実施してきた県の児童文化活動の中心的な施設です。また、「NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘」（以下、「子どもの丘」）発足のきっかけとなった「大切な場所」でもあります。

「30年前くらいは、小学校の野外活動という宮城県中央児童館（以下、県中央児童館）でした。ここがきっかけで子どもの活動を始めた方は多いです。私も学生時代に県中央児童館のボランティアサークル『アクターズ』で子どもの健全育成活動を行っていました」と、今回お話を伺った「子どもの丘」理事長の平山さんはおっしゃいます。

県中央児童館を取り巻く状況は時代とともに変化し、平成13年には、宮城県中央児童相談所と統合して「宮城県子ども総合センター」になりました。「子どもの健全育成」と「今すぐケアが必要な子どもを守る」という2つの機能の両立を目指しての統合でした。

平山さんは統合後について、「虐待など生命さえ危うい状況の子どもは増え続け、子ども総合センターは中央児童相談所の機能が年々強くなっていきました。もちろん、それは社会情勢に合わせた大切で必要な事です。しかし、子どもの健全育成は対処療法だけでなく予防的観点を持つ必要もあると私は思っています。子ども総合センターは、その機能が弱まってしまったように感じました」とおっしゃいます。

● 児童文化活動の拠点を守る

そのような状況を危惧していたのは平山さんだけではありませんでした。県中央児童館にゆかりがあり、子どもの健全育成に関わる多くの方から、「歴史があり、子どもの健全育成に活かせる場なのに活用されないのはもったいない」という

声が出始めたそうです。

その声に後押しされるように平山さんたちは、大切な県中央児童館という場所を守り活かすため、平成16年4月、「子どもの丘」を立ち上げました。

しかし、施設の老朽化に加え耐震性の問題、また宮城県の施策の変化などもあり、平成24年にオープン予定の名取市の複合施設に機能を移転する計画です。

現在「子どもの丘」では、県中央児童館跡地の利活用を各方面に提案しています。具体的には、子ども会への指導や援助、ジュニアリーダーの育成など子どもの健全育成プログラムを提供する「子どもの健全育成事業」。子どもたちに関わる大人のための研修会やセミナーを開催する「研修会・ワークショップ事業」。そして、子どもに関わる大人たちのネットワークをつくる「啓蒙・イベント・広報事業」です。

●子どもにかかわる大人のネットワーク

この中でも「啓蒙・イベント・広報事業」は、「みやぎこどもフェスティバル おてんとさんまつり」と「みやぎ児童文化フェスティバル 人形の森」として他の事業に先駆けて実施しました。これらのイベントを復活させた理由は、「この場にどんな意義があるか」を感じて欲しいというこ



▲活動を支えているボランティアの皆さん

と。もう1つは「子どもと関わっている人が、こんなに一杯いるんだ」ということを、多くの方に知ってもらったためだったそうです。

これらの企画は、「子どもの丘」主催ですが、お祭りの仕組みを提供するだけで、運営には数多くの団体や個人が参加しています。その理由を伺うと「それはやっぱり、この県中央児童館という場が、『子どもの健全育成に関わる人達のネットワークを育んできた』という歴史の表れだと思いますし、この場にはそういった力があります」と、平山さんはおっしゃいます。

●地域文化をつなぐ児童館の運営

設立後、「子どもの丘」の活動は、県中央児童館から、地域の児童館へと広がりました。現在仙台市内の6つの児童館を運営しながら、日常的に子どもの健全育成に取り組んでいます。6館それぞれが地域に開かれた児童館として地域性に合わせた運営方針を掲げ、多種多様な活動を行っています。

例えば、通町児童館は寺町にあり柿の木が多いのですが、ご高齢の方が多いいせいか放置されました。そこで、児童館の子どもたちがボランティアで柿もぎをし、半分を頂いて干し柿に、半分を柿の木の持ち主さんに渡すという地域交流を行っています。

「自分たちの住んでいる街が、子育てしやすい街であれば良いと思います。子どもは『家』と『学校』の往復だけでなく、気軽に寄り道できる場所、それは児童館でも良いし他の場所でも良い。親も安心して待ってられるような、ホッとするスペースが色々な所に出来れば良いと思います」と平山さん。地域に根ざした活動を行うのは、子どもの居場所作りという理由があったのでした。

●子どもたちを育むために

「子どもの丘」では、子どもの健全育成とは、親と子が一緒に笑える事だと考えています。そのため、児童館という場と活動機会の提供、そして「おてんとさんまつり」の様なプログラムを提供しています。「子どもの健全育成のために『大切な場所』を守り、活かすことが私たちの願いです」と、平山さんは熱く語ってくださいました。

★★取材を終えて

誰にでも大切な場所はあると思います。しかし、その思いだけに留まらず、その場所の「力」や「存在価値」に光を当て、多くの方のネットワークで守ろう、そして活かそうという活動は、市民活動の原点とも感じました。

(担当：菊地 竜生)

<団体情報>

NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘

子どもと子どもにかかわる大人に対して、社会体験・生活体験・自然体験など多様な「体験する場」を設け、様々なプログラムを直接提供することにより、地域での健全育成に寄与することを目的として活動しています。

子どもにかかわる活動に取り組む団体の研修・発表・交流の場としてイベントを開催し、ネットワークの構築や一層の健全育成の推進につなげています。

また、荒巻マイスクール児童館、岩切児童館、立町マイスクール児童館、通町児童館、鶴巻児童館、八本松児童館の指定管理者として運営を行っています。

■連絡先

〒981-0931

仙台市青葉区北山2-1-16

セントラル北山201

TEL：022-343-8880

HP：http://kodomonooka.com/

<ミニ情報>

「おてんとさんまつり」

大正・昭和時代の児童文化活動の先駆け的存在である「おてんとさんの会」にちなんで、昭和45年～63年まで宮城県中央児童館で開催されていたお祭りです。それを、「子どもの丘」は2005年5月に、約20年ぶりに復活させました。



▲今年も盛況だった「おてんとさんまつり」

「人形の森」

「みやぎの子どもたちに、本物の人形劇や児童文化活動に触れ合う場所を作りたい」という目的のもと、人形劇や影絵など16団体が競演するほか、児童館の子どもたちによる劇が行われます。今年は11月3日(祝)に開催予定です。

サポちゃんで行く **骨** プロ

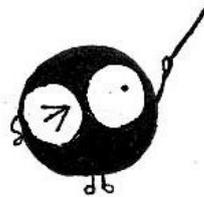
『エル・ソーラ仙台』の巻

仙台に情報の背骨を通すプロジェクト（通称：骨プロ）とは？

市民による情報の受発信を支援し、市民活動に関する情報を多くの市民に届けるため、サポセンを含め仙台市内の11の公共施設が協力して行うプロジェクトです。このコーナーでは、各施設で「骨プロ」がどのように活用されているかをご紹介します。

仙台市男女共同参画センター エル・ソーラ仙台
仙台市青葉区中央一丁目
3-1 エル28・29F
Tel:022-268-8041
Fax:022-268-8045

「エル・ソーラ仙台」（以下エル・ソーラ）は、エル・パーク仙台とともに男女共同参画推進センター2館体制の一翼を担う施設です。「子育てしながら社会参加・市民活動」をコンセプトにした発見と出会いの場です。さまざまな講座の開催や、開放的な図書ラウンジ、女性の生き方に関わる相談支援事業が特徴のエル・ソーラ。今回は、スタッフの中村喬子（たかこ）さんにお話を伺いました。



▲リング形式により、見やすく配架された骨プロチラシでつると、同じスペースで約2倍のチラシを配架でき、またひと目でチラシの全体像を把握できるメリットもあります。イベント期日の近いものほど上段へ配架しています。配架しきれないものは別の場所にストックしていますが、今後はラック脇に配置することを検討中だそうです。

●「出会い・交流」から生まれる活動の輪

子育て中のパパ・ママが、子ども達と一緒に来館し、ほかの親子と交流ができるのもエル・ソーラの特徴です。子育ての悩みやお役立ち情報の交換から始まり、地域社会の問題解決へ展開することも。そんな皆さんがさまざまな市民活動の情報を閲覧できるよう、キッズコーナーから情報コーナーへの導線が確保されていました。「骨プロラックのチラシが、訪れる方々の活動の一步を踏み出す手助けになっているようです」と中村さん。

●蔵書数は、なんと2万冊！

男女共同参画に関する蔵書を集めた図書資料ラウンジには、図書の他にも、全国の団体の情報誌や行政資料、ビデオやDVDなどの資料があります。一部を除き、貸出も可能。

●リングでチラシ見える化！

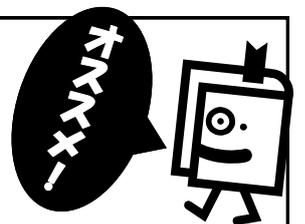
骨プロラックは、29階に設置されていました。「限られたスペースを有効に活用し、利用者に見やすく配架したい」。試行錯誤した結果たどりついたのがリング形式です。右上の写真のようにリン

男女平等のまちづくりに興味のある方は、ぜひエル・ソーラの図書ラウンジに行ってみてください。全国の情報収集や動向調査にうってつけの場所です。

（担当：佐藤 秀之）

今月のサポ本

『地域メディアが地域を変える』



地域における人と人とのつながりが希薄化しているといわれる中で、そのつながりを回復し、活性化させる手段の一つに「地域メディア」があります。

本書では、「人々のつながりを作る」という視点を大切に、その手段としての地域メディアを紹介しながら、地域のあり方を描いています。

著者はこの書をまとめるにあたって、「オフィスでの机上の空論だけでは地域の現状は見てこ

ない」とし、実際に現地取材を積極的に行い、具体例を交えながら地域社会の活性化につながる提案を行っています。

地域社会の活性化につながった例として、デジタルアーカイブシステム、商店街のポータルサイト、地域サッカーチーム、地方新聞の事例が紹介されています。

これから町内会やまちづくりNPOなど、地域活動に関わる方には是非読んでいただきたい一冊です。（担当：吉田 祐也）



著者：河井孝仁・遊橋裕泰
発行：(株)日本経済評論社
定価：2,310円(税込)

■この本は「A-1市民活動・NPO全般」にあります。

2010年度

人材育成事業のご紹介

今年度の人材育成事業は、「講座」と「相談」で
個人の想いから団体の悩みまで幅広くサポートします!!

毎回定員を上回る人気度100%の講座! NPOいろは塾

- ・NPOはどうやって始まるの?どんなしくみなの?など素朴な疑問にお答えしながら、NPOの基礎をお伝えします。
- ・サポートセンターの機能を紹介するガイドツアーもあり、こんな使い方や機能がある!と新たな発見がありますよ。

NPOについて
知りたい方に
オススメ

団体の運営について
じっくり相談したい方は
コチラ

活動に役立つワザ・コツを
習得したい方はコチラ

NEW!! NPOマネジメント相談

- ・資金調達・人集めなど、活動に関する相談はもちろん、団体の運営に関する悩みや課題に個別対応します。
- ・NPOの最前線で活躍する専門家による「経営相談の日」を新設し、現在随時行っている窓口相談をさらにパワーアップ!!

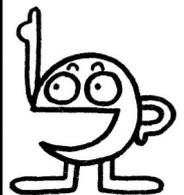
リニューアル! ステップアップ講座

- ・団体が活動をしていく上で、抱えている課題を解決するための講座です。
- ・サポセンスタッフが具体的・実践的なワザを伝えながら、楽しめる講座を行います。
例えば、
広報や資金調達に役立つ講座など。

＜講座・相談スケジュール＞

各講座の申込については、サポートセンター窓口やホームページでご案内していきます。ぜひお見逃しのないようご参加下さい。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
NPOいろは塾	22 (木)		18 (土)		28 (日)		19 (水)		8 (火)
ステップアップ講座		26 (木)		21 (木)		15 (水)		24 (木)	
NPOマネジメント相談	15 (木)		15 (木)		18 (木)				24 (木)



お知らせ ●○○●

ロッカー・レターケース 使用団体募集!!

ボランティアや市民活動団体など、自発的で公益的な活動を行う団体が利用できます。

ロッカーは活動に必要な荷物の収納場所として、レターケースは団体宛の郵便物・FAXの受け取り先としてお使いいただけます。

- 使用期間：ロッカー 2010年9月1日～2011年8月30日
(31日は入れ替え日の予定)
レターケース 2010年9月1日～2011年8月31日
- 募集数・使用料：ロッカー(大) 10個・1,200円/月
ロッカー(中) 28個・800円/月
ロッカー(小) 80個・400円/月
レターケース 168個・無料
- 申込受付期間：7月7日(水)～7月23日(金)
9:00～21:00(日曜・祝日は17:00まで)
- 申込方法：サポートセンターで配布する申込用紙で申込
※ホームページから申込書をダウンロードできます。

■問い合わせ・申し込み先

仙台市市民活動サポートセンター
TEL 212-3010 FAX 268-4042

7月～サポセンカレンダー ●○● <申込み> TEL 022-212-3010

日時	イベント内容	会場	料金
7月15日(木) 14:00～17:00	○NPOマネジメント相談 活動に関する相談はもちろん、団体の運営に関する経営的な相談に個別対応します。	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
7月22日(木) 18:30～20:00	○NPOいろは塾 「地域の役に立つ活動を始めたい!」「新聞やテレビでよく耳にするNPOって何だろう?」そんな皆さんにオススメの講座です。NPOの基礎について、90分でわかりやすく学びます。	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)

仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ <申込み・問合せ> TEL 022-217-3983 仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)

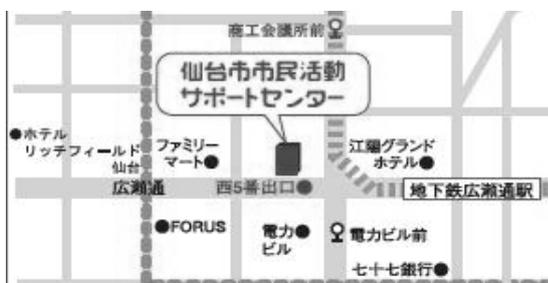
日時	イベント内容	会場	料金
7月10日(土) 10:00～17:00	◆専門相談(先着5人/一組50分程度) 仙台の市民スポーツを支えるボランティアに参加してみませんか?	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
7月24日(土) 13:30～15:30	◇セカンドライフセミナー(先着15名) 自分の経験を活かしたい!好きなこと・得意なことを地域・社会のお役に立ててみませんか?定年後を明るく迎えましょう!	研修室5 (4F)	無料 (事前申込必要)
8月7日(土) 10:00～17:00	◆専門相談(先着5人/一組50分程度) 英語を勉強しながら、そのスキルを活かせる活動に参加してみませんか?	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)



■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

■ 案内図



○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でお越しの際は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注)路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停]電力ビル前、商工会議所前
[地下鉄]広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

■ 開館時間

○平日 午前9時～午後10時

○日曜・祝日 午前9時～午後6時

■ 休館日のお知らせ(施設点検等のため)

6/30 7/28

■ 編集後記 ◆「子どもの丘」さんの写真には、まさに「おてんとさん」のような笑顔がいっぱい。雨の多い季節ですが、気持ちと表情は明るく過ごそうと思います。(菅野)

◆今月から編集班に加わった太田です。これから、皆さんのお役に立つ情報をお届けしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。(太田)

発行:仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042

ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日:2010年6月30日

編集:特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人:菅野祥子 太田貴

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間:2010年4月1日～2015年3月31日]